

放送大学
静岡学習センター

燈

2026年7月1日発行
静岡学習センター
浜松サテライトスペース
機関誌「燈」(ともしび) 第135号



静岡市の花 タチアオイ



焼津市・長泉町の花 さつき



川根本町の花 シロヤシオ



掛川市の花 桔梗

◇ 目 次 ◇

巻頭言 (柴田 俊一 先生) P1	第2学期面接授業のご案内 P7
学位記授与式・入学者の集い P2	夏季大学説明会・個別相談会 P8
在籍状況 P3	事務室からのお知らせ P9~13
科目の履修状況 P4	学燈会からのお知らせ P14~16
「セミナー」・「面接授業」の開催状況 P5	同窓会からのお知らせ P17, 18
前期公開講演会のご案内 P6	7月~9月の予定 P19

連絡先 放送大学静岡学習センター

TEL : 055-989-1253 e-mail : shizuoka-sc@ouj.ac.jp

所在地 〒411-0033

静岡県三島市文教町 1-3-93 県立三島長陵高等学校 2階



《巻頭言》

常葉大学 健康プロデュース学部 特任教授

放送大学 浜松サテライトコース 客員教授

専門分野 心理学

柴田 俊一

学習相談日：金曜日 14:00～16:00



「手書き」の意義を考える

先日も、授業をしていて、板書に「準拠した」と書こうとして、漢字が書けなかった。学生に悟られないよう「教科書読んで」と言っておいて、スマホで検索してやっと黒板に向かうことができた。恥ずかしい話であるが、ここ数年はなはだしく、そして難しくない漢字が書けなくなってきている。ボケてきているのではなくパソコンを使うようになり書く機会が極端に減ったせいだと思いたい。

NHKテレビの番組でも、「手書き問題」を取り上げていた。世界的に教科書が、タブレットに変わり、紙の教科書が減り、それに連動して手書きでノートをとるなどの手書きの機会が減ったことにより、字が書けないという問題だけでなく、読解力や総合的な学力が低下してきているという。書くことが減ったことによる弊害とみなされていて、紙の教科書、手書きへの回帰が起こっているとのことだった。日本でも、小学校の段階から一人一台のタブレットが与えられ、社会の教科書など、その地域の映像にリンクしていたり、動画で、算数の解説があったりして、非常に便利ではある。今でも漢字の書き取りの練習はしていないわけではなさそうだが、それもタブレット上でできるようである。

また、先程のNHKテレビでも取り上げていたが、英語圏の子どもでさえ、英語の筆記体を習わなくなっていて、過去に祖母が残してくれたお料理のレシピが筆記体であったため読めない孫のエピソードが紹介されていた。日本においては太平洋戦争後、1947年から中学校の英語で筆記体を習うことになっていたが2004年から筆記体を習わなくてよくなっている。筆者も何十年かぶりに書いてみたが、かろうじてアルファベットを書くことができた。英単語を覚えるときに、今の生徒たちは、サラサラと筆記体で書くのではなく、ごつごつとした活字体を繰り返し書いて覚えようとしているということらしい。

脳科学的には、ゆっくり手を動かし、そこに現れる線を見ながら、記憶にとどめるという作業が、時間はかかるが、より記憶の定着には有効であるとのこと。

朝日新聞のコラム「天声人語」を書き移す学習法が、10年くらい前に話題になり、それ専用のノートも販売されている。筆者も自ら体験してみて、書くことの意義を感じていたので、学生に就職試験対策として時事問題や、文章を書くときのお手本として「天声人語」の書き写しをゼミ単位で取り組んだことがあるが、有意義な時間であった。600字を書き写すのに平均20分くらいの時間がかかったが、本文の中に経済用語など知らない単語が出てくるので、それをスマホの検索ではなく辞書で確認し意味を調べるところまでやると、さらに時間がかかるがよい学習手段だったと思う。

みなさんも、手書きの意義をもう一度見直し、日々の学習の中に、手書きをより取り入れてみられたらどうだろうか。

学位記授与式、入学者の集い

放送大学静岡学習センターでは、この度2025年度第2学期学位記授与式を4月4日（土）静岡学習センターで、4月5日（日）浜松市地域情報センターで挙行了しました。108名の卒業・修了生のうち、静岡SCで21人、浜松SSでは13人が出席し、厳かな雰囲気の中で開催されました。田中所長より一人一人に学位記が授与され、それぞれが感慨深い思いを胸に御卒業・御修了されました。放送大学から旅立つ人、再入学して新たな分野に挑戦する人、さらなる探究心をもって大学院を目指す人などさまざまです。静岡学習センターでは、式終了後に静岡同窓会が呈茶席を設け、思い出話に花を咲かせていました。卒業生の皆さんの今後のご活躍を、職員一同、心より祈念しております。

*2025年度第2学期卒業・修了生【静岡SC：71名 浜松SS：37名】



謝辞【静岡SC：青木綾子様】



学長メッセージ【浜松SS】



謝辞【浜松SS：牛田美恵子様】

2026年度第1学期入学者の集いには、静岡SCで44人、浜松SSでは55人が出席されました。岩永雅也学長メッセージ、田中伸司静岡学習センター所長挨拶、来賓祝辞、客員教員・職員の紹介の後、入学者ガイダンス及び学燈会の説明が行われました。式典終了後、静岡学習センターでは1階ホールにて、各サークルの代表が活動状況の内容などを紹介し、浜松サテライトスペースでは、学燈会が自らの学生生活での体験談を話したり、新入生からの質問に答えたりして、これから始まる学生生活をサポートをしていました。新たな学びに向け大きく羽ばたくこと、職員一同願っています。

*2026年度第1学期入学生【静岡SC：343名 浜松SS：322名】



入学者ガイダンスに聴き入る学生【静岡SC】



田中所長のあいさつ【静岡SC】



学燈会の紹介
【浜松学燈会 伊尾喜代表】

在籍状況

今学期は、665名（大学院含む）の新入生を迎えることができました。新入生が600名を超えるのは、令和5年度第1学期以来3年振りとなり、前年同学期比でも104名の増加となりました。学部生（611名）に限って見てみると、平成30年度第1学期以来8年ぶりに600名を超えることとなりました。また、全科履修生が1,486名と過去最高の在籍者数となりました。これは、日頃より学生の皆さまが様々な場面で御友人などにお声かけくださっているお陰と感謝しております。静岡学習センター、浜松サテライトスペースの職員一同、これからも学生の皆さまに対し、生涯学習やキャリアアップ等の大切さを実感していただけるよう御協力させていただく所存です。

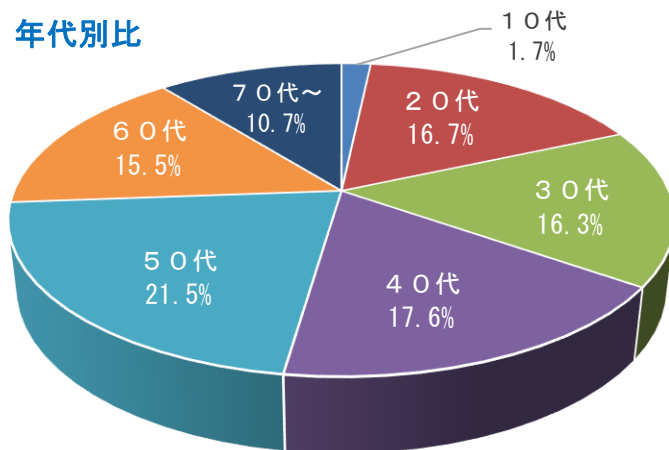
さて、学生種別では例年同様、学部生が約96%を占め、そのうち全科履修生が約72%と最も多く在籍しています。コース別では、心理と教育が約32%と最も多いことには変わりありません。

年代別・職業別を見てみると、放送大学は、生涯学習はもちろんのこと、学士取得が目的の学生や御自身のキャリアアップに向けた学習を目的とする方も学んでいることが伺えます。

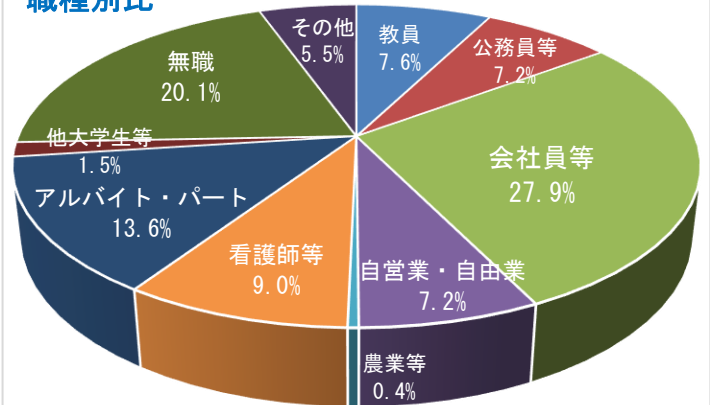
※男性：953人（46.0%）、女性1,117人（54.0%） ※昨年度比とは、昨年度同期比 △は、マイナスを表す

		全科履修生	選科履修生	科目履修生	特別聴講生	学部計	修士全科生	修士選科生	修士科目生	修士特別聴講生	博士全科生	大学院計	合計
静岡SC	入学者	121	121	70	4	316	3	19	5	0	0	27	343
	在籍者	811	185	70	4	1,070	6	24	5	0	0	35	1,105
浜松SS	入学者	112	109	65	9	295	4	18	2	3	0	27	322
	在籍者	675	175	65	9	924	10	24	2	3	2	41	965
全体	入学者	233	230	135	13	611	7	37	7	3	0	54	665
	在籍者	1,486	360	135	13	1,994	16	48	7	3	2	76	2,070
昨年度比	入学者	58	41	16	△8	107	2	△3	△3	1	0	△3	104
	在籍者	47	50	16	△8	105	2	△8	△3	1	0	△8	97

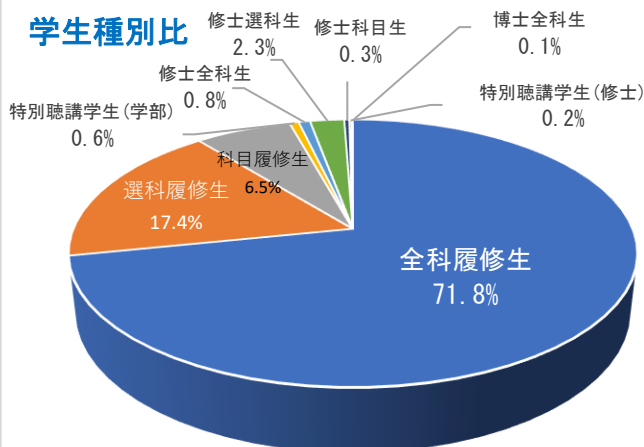
年代別比



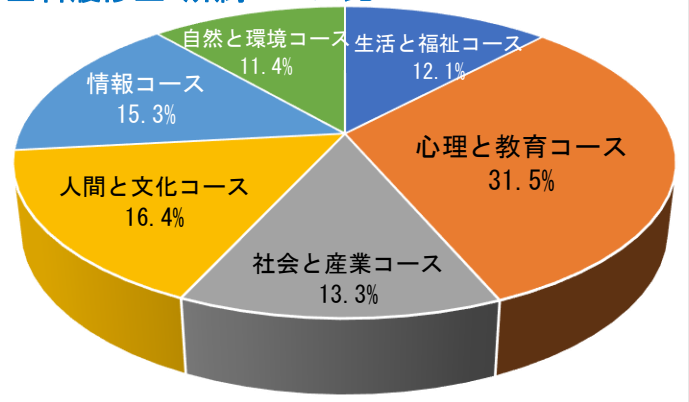
職種別比



学生種別比



全科履修生 所属コース比



2026年度第1学期 科目の履修状況

今学期の科目別履修情報から、履修者数が多い科目（放送授業、オンライン授業）を種類別・コース別に紹介します。赤字の科目は、前学期は上位10科目にはなかった科目です。

生活と福祉コースの「人体の構造と機能' 26」「疾病の回復を促進する薬' 25」「食と健康' 24」、心理と教育コースの「心理学概論' 24」、情報コースの「プログラミング入門Python' 24」については、前学期と比較して履修者が倍増しました。また、心理と養育コース、社会と産業コース、情報コースでは、半数を超える科目が新たに上位10科目に登録されました。学生の皆様におかれましては、2026年度第2学期の科目を選択する上での参考にしてください。

科目の種類別登録者数（静岡学習センター・浜松サテライトスペース）

No.	生活と福祉コース		心理と教育コース		社会と産業コース			
1	人体の構造と機能' 26	78	心理学概論' 24	124	社会学概論' 25	53		
2	疾病の成立と回復促進' 25	71	知的障害教育総論' 25	58	日本国憲法' 26	31		
3	疾病の回復を促進する薬' 25	66	特別支援教育基礎論' 24		市民生活と裁判' 26			
4	食と健康' 24	65	心理カウンセリング序説' 21	56	経営学入門' 24	27		
5	感染症と生体防御' 24	57	特別支援教育総論' 25	54	一般市民のための法学入門' 23	23		
6	社会福祉—新しい地平を拓く' 22	46	教育・学校心理学' 20	53	社会経済の基礎' 25	22		
7	睡眠と健康' 25	45	発達心理学概論' 17	52	簿記入門' 22			
8	今日のメンタルヘルス' 23	43	学習・言語心理学' 25	45	政治学入門' 26	21		
9	公衆衛生' 24	40	感情・人格心理学' 21	43	社会調査の基礎' 19	20		
10	レジリエンスの科学' 24 地域・在宅看護論' 23	30	臨床心理学概論' 20		社会科学の研究計画作成法' 26	17		
No.	人間と文化コース		情報コース		自然と環境コース			
1	博物館概論' 23	29	プログラミング入門Python' 24	42	宮沢賢治と宇宙' 24	40		
2	映画芸術への招待' 25	26	ゲーム理論入門' 25	30	初歩からの生物学' 24	33		
3	時間を究める' 23	23	初歩からの情報科学' 25	24	入門微分積分' 22	32		
4	歴史のなかの人間' 22		表計算プログラミングの基礎' 21	18	初歩からの物理' 22	28		
5	原典で読む日本の思想' 24	22	AIシステムと人・社会との関係' 20	17	ダイナミックな地球' 21	20		
6	「日本語らしさ」とは何か' 25	21	Webのしくみと応用' 25		初歩からの化学' 18	17		
7	日本近現代史' 21	20	情報ネットワーク' 26	16	はじめての気象学' 21	16		
8	多文化共生のコミュニケーション' 24		記号論理学' 24		宇宙の誕生と進化' 19			
9	日本文学と和歌' 21	19	映像コンテンツの制作技術' 25	14	入門線型代数' 19	15		
10	哲学・思想を今考える' 23 日本語学入門' 20	18	情報セキュリティと倫理・心得' 26 表計算プログラミングの活用' 25 日常生活のデジタルメディア' 22		ジオストーリー' 25 生物環境の科学' 25			
No.	基盤科目		No.	基盤科目		No.	看護師資格取得に資する科目	
1	より良い思考の技法' 23	95	11	韓国語 I' 25	35	1	成人看護学' 24	25
2	日本語リテラシー' 26	82	12	平和と安全保障' 26	31	2	老年看護学' 25	23
3	問題解決の進め方' 25	74	13	データサイエンス・リテラシ導入' 22	24	3	小児看護学' 22	13
4	シン・ビートルズ de 英文法' 25	61		演習初歩からの数学' 20		4	精神看護学' 25	10
5	遠隔学習のためのパソコン活用' 25	59		自然科学はじめの一步' 22		5	母性看護学' 26	7
	心理と教育へのいざない' 24		日本語アカデミックライティング' 22					
7	初歩からの数学' 18	53	17	社会と産業の倫理' 21	23			
8	身近な統計' 24	46	18	少子化時代の子育て—法と政策' 25	22			
9	運動と健康' 22	44		地理空間情報の基礎と活用' 22				
10	情報学へのとびら' 22	37	20	英語で発信する日本文化' 26	21			

※登録者数は再試験対象者を含みます。

「セミナー」・「面接授業」の開催状況

第1学期セミナーへお申込みいただき、ありがとうございました。静岡学習センターで41名（対面：35名、オンライン：6名）、浜松サテライトスペースで20名（対面：16名、オンライン：4名）の参加者となりました。セミナーの魅力は、各講師の先生方がそれぞれの専門分野からテーマを設定し、参加者と意見を交わしながら学ぶところです。単位修得には結びつきませんが、参加者が自主的に参加するので、学習意欲の高い人たちが集まり、学びの時間が楽しいものとなります。さらに、同じテーマに興味のある人たちの中で交流が生まれたり、質疑応答の時間で新たな知識や技術を聞けたりなど、学習の視野を広げるポイントがたくさんあります。第2学期もセミナーが開催されます。田中伸司所長をはじめとして、「ブラタモリ」で富士山を幾度となく御案内した小山真人先生など多彩な教員による特色あるセミナーが盛り沢山あります。今まで参加したことのない方も興味関心のあるテーマのセミナーへ是非ご参加してみたいかがでしょうか。きっと新たな自分を発見できる機会となるでしょう。多くの参加者をお待ちしております。2026年度第2学期セミナーは、10月1日（木）より受付開始予定です。



橋本剛先生セミナーの様子



阿部耕也先生セミナーの様子



田中伸司所長セミナーの様子

放送大学では、全国の学習センター等において「面接授業（スクーリング）」を実施しています。面接授業は、直接教員から指導を受ける機会として重要であるばかりでなく、学生相互の交流・啓発の場としても広く活用していただいています。静岡学習センターが主催する第1学期面接授業も27講座開催中で、既に終了した面接授業を含め静岡県内の受講生だけでなく、全国各地から多くの受講生を受け入れ、充実した授業が開催されています。第2学期の受付開始は、在学生については以下のとおりとなっています。人気講座については、早く申請しても定員の関係上、抽選となり必ず受講できるとは限りませんが、興味関心ある講座を受講し、実りある学習をしていただきたいと思います。

<システムWAKABA> 8月15日（土）9:00～ 8月31日（月）24:00

<郵送> 8月15日（土）～ 8月30日（日）[私書箱必着]



【面接授業の様子】

前期 公開講演会のご案内

まだ、間に合います

第1回 伊豆半島ジオパークの生態的価値

講師：佐々木 恵子 氏（（一社）美しい伊豆創造センタージオパーク推進部専任研究員）
日時：8月1日（土） 13:30～15:30
会場：県立三島長陵高等学校2階 視聴覚室
定員：来場者60名（先着順）



伊豆半島は、遙か南の海からやってきた火山島です。その地質的価値が認められて、ユネスコ世界ジオパークに認定されました。それでは、本州とは一風変わった伊豆半島に棲む生き物たちには、なにか特徴的なところが見られるのでしょうか？植物を切り口に、伊豆半島の生き物や生態系が有する価値についてお話します。

第2回 「国際文化学?への招待—文化の接触と変容についての理論を軸に」

講師：馬場 孝 氏（静岡文化芸術大学 名誉教授）
日時：8月2日（日） 13:30～15:30
会場：静岡市立南部図書館2階 地域交流ホール
定員：来場者80名（先着順）



文化と文化が接触したとき、どのようなことが起きてどのような変化が生じるのか。それをモデル化した「文化触変論」について概要を紹介し、有効性や限界を事例を交えて検討しつつ、国際文化学（インターカルチュラル・スタディーズ）という新しい学問のあらましを説明したいと思います。

第3回 酸素と鉄と炭素のジオストーリー

受付は終了しました。

講師：大森 聡一 氏（放送大学 教養学部 教授）
日時：8月9日（日） 13:30～15:30
会場：クリエート浜松5階 53会議室
定員：来場者30名（先着順）



「ジオストーリー」とは、大地と私たちの暮らしを結び物語を指します。現在起こっている現象に限らず、地球46億年の歴史上の出来事も今の私たちの暮らしに関係しています。今回は、身近な元素である酸素と鉄と炭素に注目し、これらと生命が互いに関係し合うジオストーリーについてお話します。

第4回 学び合う地域のためのキャリア教育

講師：宇賀田 栄次 氏（静岡大学 学生支援センター 教授）
日時：8月23日（日） 13:30～15:30
会場：三島市民生涯学習センター 3階講義室
定員：来場者75名（先着順）



地域において、若者は「未来資本」であり、大人は「知的資本」といえます。キャリア教育とは、この二つの資本を紡ぎ、地域の未来を共創することに他なりません。就職支援に偏った従来の政策の「ズレ」を乗り越え、多様化する価値観や新しい仕組みのなかで若者と大人が共に学び、より良く変わる土壌づくりのためのキャリア教育の役割と、学校・行政・市民ができることについてご提案します。

お申込み

右下のQRコード又は静岡学習センターウェブサイトでご案内している「お申込み入力フォーム」に必要事項を入力願います。静岡学習センター、浜松サテライトスペースに電話やメールでお申込みいただいても構いません。その際、講演会のタイトル、お名前、電話番号及び所属の学習センター（放送大学の学生の場合）等をお知らせください。聴講無料でどなたでもご参加できます。ただし、ご来場には人数制限があるため、先着順とさせていただきます。

なお、4月よりお申込みの受付をしており、**締め切りは、各回開催日の一週間前**です。

静岡学習センター：055-989-1253 浜松サテライトスペース：053-453-3303

e-mail：shizuoka-sc@ouj.ac.jp



第2学期 面接授業のご案内

※ 科目登録申請の参考にしてください。

なお、内容が変更になる場合がありますので、申請前に時間割表等で必ず確認してください。

◇令和8(2026)年度第2学期面接授業◇(案)

	区分コード	科目名	日程	定員	教室	担当講師・所属
静岡学習センター (三島市)	専門科目：心理と教育	心理学実験3	10/17・18	25	視聴覚室	小池 はるか(東海大学 児童教育学部 准教授)
	導入科目：人間と文化	地理学実習	10/17・18	20	会議室	山本 隆太(静岡大学 地域創造教育センター 准教授)
	専門科目：人間と文化	富士山の歴史と民俗	10/24・25	50	視聴覚室	大高 康正(静岡県富士山世界遺産センター 教授)
						井上 卓哉(静岡県富士山世界遺産センター 教授)
	専門科目：心理と教育	心理学研究法	10/24・31	25	会議室	高橋 秀明(放送大学 教授)
	専門科目：情報	映像表現入門	10/31 11/1	20	視聴覚室	西尾 典洋(目白大学 メディア学部 准教授)
	専門科目：自然と環境	火山が作った大地の成立ちと防災	11/7・8	40	視聴覚室	小山 真人(静岡大学 名誉教授)
	専門科目：心理と教育	心理学実験2	11/7・8	30	会議室	園田 明人(静岡県立大学 国際関係学部 教授)
	専門科目：社会と産業	ヨーロッパの社会と生活	11/14・15	40	視聴覚室	松田 紀子(静岡大学 国際連携推進機構 教授)
	導入科目：社会と産業	やさしい法学入門		25	会議室	根本 猛(静岡大学 名誉教授)
	専門科目：情報	情報ネットワークとサービス	11/28・29	20	会議室	芝崎 順司(放送大学 教授)
	専門科目：人間と文化	<ケルト>から考えるヨーロッパ	12/12・13	20	会議室	森野 聡子(静岡大学 名誉教授)
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	12/19・20	32	会議室	田辺 肇(静岡大学 人文社会科学部 教授)	
静岡市教室	導入科目：人間と文化	多文化共生から考える人類学入門	10/17・18	25		金 明美(静岡大学 情報学部 教授)
	専門科目：心理と教育	子どもと創造活動	10/24・25	20		高橋 智子(静岡大学 教育学部 教授)
	専門科目：心理と教育	児童虐待予防－親教育の視点－	10/31 11/1	25		柴田 俊一(常葉大学 健康プロデュース学部 特任教授)
	専門科目：心理と教育	対人関係と適応の心理学	11/ 7・8	25		橋本 剛(静岡大学 人文社会科学部 教授)
	専門科目：心理と教育	発達臨床心理学	11/28・29	25		畠垣 智恵(静岡大学 人文社会科学部 教授)
	専門科目：人間と文化	家族とジェンダーの社会学概論	12/19・20	25		白井 千晶(静岡大学 人文社会科学部 教授)
浜松サテライトスペース	導入科目：人間と文化	文明の思想史2：近世～現代	10/17・18	30		吉田 寛(静岡大学 情報学部 教授)
	基盤科目	改訂・問題解決の進め方	10/24・25	30		門奈 哲也(産業技術総合研究所 総括研究主幹)
	専門科目：心理と教育	心理学実験1	10/31 11/1	30		久保田 貴之(高崎健康福祉大学 人間発達学部 准教授)
	専門科目：心理と教育	社会を読み解く技法	11/ 7・8	30		阿部 耕也(静岡大学 特任教授)
	専門科目：自然と環境	低酸素環境の生物学	11/14・15	30		山内 清志(静岡大学 名誉教授)
	基礎科目：外国語	英語リーディング入門2	11/28・29	30		安富 勇希(静岡大学 大学教育センター 准教授)
専門科目：社会と産業	エネルギーと環境を考える	12/ 5・6	30		松田 智(放送大学 非常勤講師)	
掛川	専門科目：自然と環境	薬学への誘い	12/19・20	30		青柳 裕(金城学院大学 薬学部 教授)

○【静岡学習センター(県立三島長陵高校 2階)】

○【静岡市教室(静岡市立南部図書館 2階)】

○【浜松サテライトスペース(クイート浜松 4階)】

○【掛川教室(掛川市立中央図書館)】

「いつでも だれでも どこでも」 学べる自由な開かれた大学です。
「学費の負担が少ない」 「自分のペースで学べる」
「15歳からシニアの方まで」 幅広い年代の方が学んでいます。

第1回 7/26(日)

13:30~15:00

浜松サテライトスペース

(クリエート浜松4階) 浜松市中央区早馬町2-1

JR浜松駅北口より徒歩10分 遠州西鹿島線「遠州病院駅」下車 東隣り

第2回 8/1(土)

10:00~11:30

静岡学習センター

(三島長陵高校2階) 三島市文教町1-3-93

JR三島駅北口より 徒歩3分

第3回 8/2(日)

10:00~11:30

静岡市教室

(静岡市立南部図書館2階) 静岡市駿河区南八幡町3-1

JR静岡駅南口より 徒歩25分(約2km)

静鉄バス 石田街道線(南口22番乗り場)「中田三丁目ダイワハウス前」下車 徒歩5分
みなみ線(南口21番乗り場)中田經由「駿河区役所静岡新聞社前」下車 徒歩5分

内容

<全体会> 大学の特徴、学習方法、科目選択、出願方法、学費など
<個別相談会> お知りになりたい御質問に個別対面方式で対応します。

6月10日より受付しています

右のQRコード又は静岡学習センターウェブサイトでご案内している「お申込み入力フォーム」に必要事項を入力。又は、電話・メールでお申込みいただいても構いません。お名前とご連絡先、ご参加される会場をお知らせください。



静岡学習センター ☎055-989-1253



浜松サテライトスペース ☎053-453-3303



事務室からのお知らせ

◇ **単位認定試験** Web 受験方式で実施されます（一部科目のみ郵送試験方式です）

2026 年度第 1 学期単位認定試験は、次の日程に Web 受験方式で実施されます。詳細については、[放送大学ウェブサイト](#)、「[学生生活の葉](#)」学部 p74～、院 p79～などで確認できます。間違えのないよう、事前に十分に確認して試験に臨みましょう。

<Web 受験科目の試験期間>

実施方法	出題形式	試験日程（郵送試験は提出期間）
Web 試験	択一式科目	2026 年 7 月 14 日（火） 9:00 ～ 7 月 22 日（水） 17:00
	記述式・併用式科目	2026 年 7 月 14 日（火） 9:00 ～ 7 月 18 日（土） 17:00
郵送試験	すべての出題形式	2026 年 7 月 14 日（火）～ 7 月 18 日（土）《必着》

※「行政学講説（`24）」、「正多面体と素数（`21）」、「日本美術史の近代とその外部（`18）」、「量子化学（`19）」のみ、郵送試験（自宅等で答案を作成し、郵便で提出する方法）で実施します。詳しくは「[授業科目案内](#)」をご確認ください。

- インターネットを通じて、試験期間中、いつでも自宅等から受験することができます。
- 「択一式」はクリック、「記述式」は文字入力により解答します（郵送試験を除く）。
- 1 科目 50 分の時間制限があります（郵送試験を除く）。受験画面を離れてもカウントダウンは進行します（一時停止できません。1 科目 1 回のみ受験可能）。

※解答を保存せず、Web 試験の画面から離れた場合には、制限時間経過後に解答が白紙として送信されますので、ご注意ください。小まめな解答保存をおすすめします。

- Web 単位認定試験の画面から離れずに制限時間が経過した場合、その時点での解答内容（画面に表示されている内容）が自動送信されます。
- 必ず体験版を操作して、パソコン環境に問題がないかなど、確認しておいてください。

◇ **今回から「単位認定試験通知(受験票)」の郵送は原則廃止となりました**

- （必ずご確認ください！）2026 年度からの受験票の扱い

単位認定試験受験場所	単位認定試験通知（受験票）の扱い	
全て自宅受験	受験票は郵送いたしません。	→下記(1)を確認ください。
記述・併用のみ 学習センター受験	（記述・併用科目を受験しない場合） 受験票は郵送いたしません。	→下記(1)を確認ください。
	（記述・併用科目を受験する場合） 受験票を郵送いたします。	→下記(2)を確認ください。
全て学習センター受験	受験票を郵送いたします。	→下記(2)を確認ください。



- (1) 単位認定試験をご自宅等で受験される方へ（受験票の郵送なし）
当該学期に受験可能な科目は、システム WAKABA「教務情報→単位認定試験時間割照会（学生用）」からご確認ください。
- (2) 単位認定試験を学習センター等で受験される方へ（受験票の郵送あり）
「単位認定試験通知(受験票)」を、郵送でお送りいたします。上記(1)の方法でシステム WAKABA 上でも確認可能です。

- 郵送試験科目を受験される方へ

郵送試験科目を受験される学生には、別途郵送科目の受験に関する通知書を郵送いたします。
※郵送試験科目を科目登録した場合でも、通信指導未提出または不合格の場合は、通知書は郵送いたしません。

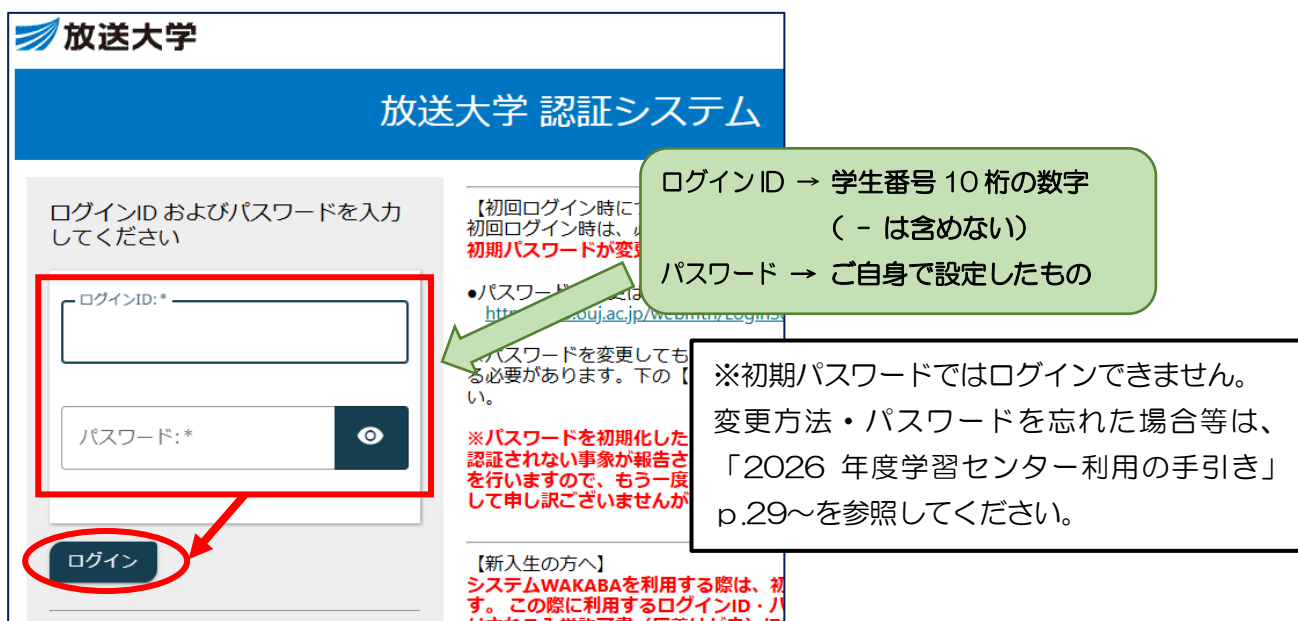
よくあるお問い合わせ

★Web単位認定試験のサイトはどこから入りますか？

- ①インターネット検索で「放送大学」を検索し、Webサイトを開く。
(<https://www.ouj.ac.jp/>)
- ②一番上のグレー部分にある「>在學生 (WAKABA)」をクリックして、以下の手順で進む。



- ③放送大学認証システムに入るので、IDとパスワードを入力後「ログイン」をクリック。



④システムWAKABAにログインしますので、右の「学内リンク」の中の「Web単位認定試験」をクリックします。「【放送大学】Web単位認定試験」の画面が開きますので、科目一覧の下にある科目名をクリックして、受験を開始します。

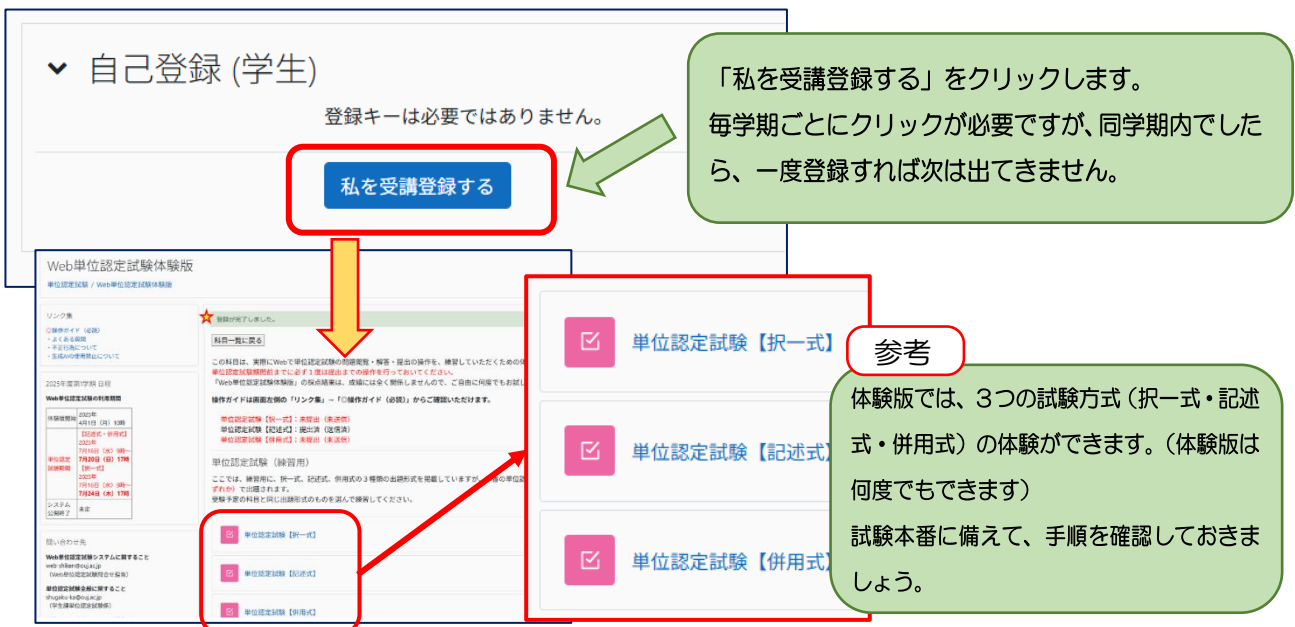


「科目一覧」の下に受験できる科目が表示されますので、科目名をクリックして入ります。

※上は「体験版」のみ表示されています。本番の試験の際には、この位置に受講している科目の試験科目名が表示されます。

よくあるお問い合わせ

★単位認定試験体験版・試験当日画面で、始まる前に「自己登録（学生）」の画面が出てきたら、どうすればよいですか？



よくあるお問い合わせ

★通信指導の可否結果は、いつ頃どのように確認できますか？

通信指導の可否結果は、2026年6月末～7月上旬に、システムWAKABAの 以下(1)～(3)の画面で確認することができます。

- (1)「教務情報→履修成績照会」
- (2)「教務情報→学生カルテ→単位修得状況情報」
- (3)「教務情報→単位認定試験時間割照会（学生用）」

通信指導に合格すると、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。

よくあるお問い合わせ

★2026年度第1学期の通信指導が不合格だった場合、どうしたらいいですか？

通信指導が不合格だった科目については、単位認定試験を受験できません。

ただし、2026年度第2学期に学籍があり、2026年度第1学期に登録した科目であれば、再度科目登録をしなくても、今回不合格だった科目を履修することができます。

※ **オンライン科目（一部を除く）は対象外**

2学期にまた学習に取り組んで、再度通信指導を提出することから始めましょう。

◇ 次学期の準備・・・科目登録と継続入学の手続き・・・

次学期の科目登録や継続入学などの手続きは、次の期間に申請する必要があります。

<科目登録>

システムWAKABA・・・8月15日（土）～ 8月31日（月）（Web上で登録）

郵送での科目登録・・・8月15日（土）～ 8月30日（日）（本部必着）

※「学生生活の栞」p63～（院：p66～）、「学習センター利用の手引き」p43

<継続入学>

第1回 8月15日（土）～ 8月31日（月）必着

第2回 9月 1日（火）～ 9月 9日（水）

※「学生生活の栞」p97～（院：p101）、「学習センター利用の手引き」p43

- 継続入学の手続きは、今学期末で学籍がなくなる方が対象です。
- 必ず期間内に申請するとともに、その内容を十分にご確認ください。
- 科目登録申請期間中にWeb（システムWAKABA「教務情報→継続入学申請」）で申請する場合は、放送授業・オンライン授業と面接授業を併せて登録することができます。
※郵送により出願手続きを行った場合、面接授業の科目登録はできませんのでご注意ください。郵送出願の方が面接授業の科目登録をしたい場合は、追加登録（登録に空きのある科目のみ）で申請できます。
- システムWAKABAによる科目登録の場合は、科目登録期間内であれば、科目登録申請画面内において申請内容の変更ができます。

※**郵送による科目登録申請の場合、申請後は科目内容を変更できません。**

◇ 各種証明書の発行

すべての証明書の発行は、学習センターで行っています。必要な場合には、諸証明書交付願を静岡学習センター窓口に提出してください（浜松サテライトスペースでは発行できません）。手数料（1通につき200円）のお支払いはキャッシュレス決済となります。郵送での交付申請も可能です。

詳しくは、「学生生活の栞」p103～（院：p103～）、「学習センター利用の手引き」p39～、静岡学習センターのWebサイトの「よくあるお問合せ」をご覧ください。

◇ 無線 LAN(Wi-Fi houdai)の利用申請について

2018年度から、学習センターで無線 LAN (Wi-Fi houdai) が導入されています。学生の方なら利用申請をすれば、スマホでもパソコンでも全国の学習センター内で自由に Wi-Fi を使用することができます。

利用申請は以下の手順で行ってください。

1. 情報セキュリティ研修を受講する。

システム WAKABA から、「放送大学自己学習サイト」内にある「情報セキュリティ研修（学生用）」を視聴し、最後の小テストで 100 点を取る。

※100点を取るまで、小テストは繰り返し受講となります。

小テストで 100 点を取ると、「修了」です。

60 分くらいかかります。

2. 「修了」後、システム WAKABA

→ キャンパスライフ

→ 各種届出・申請様式

→ 「無線 LAN 申請（オンライン）について」

からオンライン申請を行う

3. 無線 LAN 利用許可書（即時発行）が発行されます。



【アカウントは学籍期間が利用期間】

卒業や在籍期間満了で学籍がなくなった場合、そのアカウントは学籍のある学期末で削除となります。

卒業後引き続き入学をされた方（学籍が続く方）や、在籍期間満了後、継続入学された方はアカウントを継続利用できます。

期間をあけて再入学した場合、利用については再度申請していただく必要がありますので、ご注意ください。

使用できる場所は、全国の学習センターおよびサテライトスペース内です。

※ 静岡市教室・掛川教室内ではこの無線 LAN は利用できません

学燈会からのお知らせ

■ 静岡学燈会 < 会員78名 >

ぶらす1クラブ



活動している学生からの感想です。

みなさん、こんにちは。静岡学習センターの つちのこ です。

ぶらす1クラブで写経を初めて2年。家で一人で書いてもなかなか習慣付かないことでも、皆でその時間を共有しながら書くことで続けることができました。

わずか 262 文字を書き写すだけのことで、無心に、ひたむきにお経を一文字一文字丁寧に書くことで、集中力も高まり時間の経過もアッ！という間。その日に書いたものを皆で唱和して… 心身ともにリフレッシュ。今日も、新しい自分の出来上がりです。

ぶらす1クラブは活動を始めて10年以上になります。毎月1回、第2土曜日の10時から11時30分までの90分、般若心経の写経を中心に活動しています。“ぶらす1”には、いつも自分自身にプラスの心と希望を持ち続けて行こう、との意味が込められています。

慌ただしい毎日を送っていると自分自身を見失いがちです。そのような時、心をクリアにして雑念を取り除くのに役立つのが「瞑想」です。いろいろな瞑想のやり方がある中で、写経は「書く瞑想」とも言われ、古くから行われてきた心を落ち着かせるメンタルトレーニングのひとつです。筆ペンで一字一字に注意を集中し丁寧に書き写すことで、自然と今この瞬間に意識が向けられ雑念が少しずつ静まっていきます。また、繰り返し淡々と書き写すことで「色即是空 空即是色」といった般若心経の言葉が心に染み入り、自分自身と静かに向き合う時間にもなります。

写経のあとはカフェでランチとコーヒーを楽しみながら、写経の感想や最近の出来事などを話しながらくつろぎます。

定例の写経に加えて、年に3～4回、野外活動も行っています。湯河原や曾我の梅林でのお花見、鎌倉瑞泉寺などの名刹めぐり、建長寺や薬師寺東京別院での写経体験、蒲原宿散策、宇津ノ谷峠ハイキング、箱根の美術館や国立西洋美術館での名画鑑賞などです。静かな寺院の空気の中で筆をとったり、季節ごとの風景や芸術作品に触れたりすることで、日常とは違った豊かな時間を共有しています。野外活動は、写経をきっかけに仏教文化や歴史、芸術への関心を深めていく貴重な機会にもなっています。

写経に使うお手本、用紙、筆ペンなどは用意してありますので、写経は初めてという方でも静かな時間を味わいながら、自分のペースで進めていただけます。集中して何かに向き合う時間を持ちたい方、名所旧跡や美術館めぐりに興味のある方、一緒に写経と語らいの時間を楽しんでみませんか。いつからでも始めることができますので参加お待ちしております。見学や体験参加も歓迎しています。

ぷらす1クラブ

観自在菩薩・・・

写経を始めて4年目、今でもなぞり書きをしているのは俺一人か。でも筆ペンのおかげで墨も硯も不要になったことはありがたい。子供のころ重い習字かばんを下げて習字教室に通った。

色不異空 空不異色

般若心経はわずか262文字で構成されているが、同じ文字が何回も登場する。頻度の高い文字を数えたら、「無」が21回、「羅、不、是」が9回、「波」が8回、「空」が7回、「色」が6回だった。

羯諦羯諦 波羅僧羯諦

もうじきお昼か、今日も葉山珈琲でカレーライスかな？「煩惱多き人生、写経が免罪符となり」。今日も全員で読経して終わる。

本文266字、題字10字を加えて276字のお経「般若心経」を写す写経、1時間程度集中して書き写し、最後に声を出して読み上げる誦経、心が落ち着くひとときです。



「ありがとう寺」での写経の様子

「ぷらす1クラブ」としての校外活動での有意義な楽しいひととき、多種多様に経験豊かな仲間達との会話をしているときのひととき、私にとっては月に一度のリフレッシュすることのできるサークルです。

蛇蝎のごとく

過日、宗教学者の山折哲雄さんのインタビュー番組を見た。親鸞の晩年の言葉で「浄土真宗に帰すれども（略）こころは蛇蝎のごとく」というのを紹介していた。（悲嘆述懐和讃から）親鸞にしてこの言葉なのだ、日蓮宗や天台宗でよく使われる「十界互具、一念三千」のように、心は不可思議なものであり、菩薩も、餓鬼や修羅のような心をもつ時がある。この親鸞の言葉が染みた。

写経と言えば般若心経というのが普通だが、ぷらす1の皆さんには、無理を言って般若心経以外でやらせてもらった。写経はこころが落ち着くという人もいます。それはその通りですが、折角だから自分が理解できる言葉を書写してみたいと思いました。余談ですが、

「蛇蝎のごとく」は、蜘蛛やサソリのこ

とですが、あまり使われる言葉ではありません。だいぶ前に、向田邦子さんのドラマで、この名前があります。想像するに、この文から採ったものだろうと思います。



旬膳処 茶目



「茶目」での昼食

学燈会からのお知らせ

■ 浜松学燈会 < 会員60名 >

『～五丈岩から富士を眺める～』



ゴールデンウィーク、金峰山1泊2日の山行に出掛けた。標高2,599m、奥秩父山塊の主峰山だ。天気は快晴、新緑の森を抜け、富士山や日本アルプスの山々を眺めながらの山行は「サイコー！ヤッホー！」というのが表向き、実際は重装備を背負っての約8時間(コースタイムの倍)の山行は苦行であった。完全に私のキャパオーバー。これを企画した夫への不満で、ぼやき道中になった。改めて、自分

の能力を越えた課題を遂行する苦しさを実感。何事も『無理は禁物』である。

放送大学の履修選択についても同様で、私は実力相当の科目を選び学んでいる。家事と仕事のすきま時間を活用している。なかなか思うようにはならないが『マイペース』で楽しく学びたい。ただ、金峰山山頂で絶景を眺めながら飲むビールはサイコーで、全てがここに至らなければ味わえなかった経験。私の可能性を信じ、この場所に連れて来てくれた夫の導きあってこそその体験だった。限界突破するためには、応援

し導いてくれる存在が必要だと強く感じた。

それこそ私はこれまで家族の応援団長で、家族ファーストで生きてきた。しかし、昨年夏に息子から『ぼくは母さんからできるだけ遠くに離れたかった。だから遠くの大学を選んだ。』と突然告げられた。この言葉がきっかけで、私は自分を見つめ直した。そして『そうだ、大学に行こう！』ということになったのである。短大卒の私、残り62単位を取って大学を卒業したい。現在、入学式で知り合った友人と学習進捗状況等を共有したり、励まし合ったりして学生生活を送っている。学問を山に例えるなら、私は様々な山に登ってみたい。友と語りながら、先人の導きで『到達困難な山』に挑戦してみたい。私は今、大学生活への期待でワクワクしている。

全科履修生（2026年度入学） 浜松サテライトスペース所属 高井優子

同窓会からのお知らせ

■ 静岡同窓会 < 会員110名 >

静岡同窓会 3月～6月活動報告

5月16日(土) 定期総会 長陵館 1階会議室

14:00 総会 18人参加 欠席者からも葉書やメールで50人ほどから連絡いただきました。

14:30 1時間程、田中新所長から自己紹介を兼ねて講演会

ギリシャ哲学が専門という所長から「シユンポシオンをめぐる」と題して、プラトンやアリストテレスなどの時代、アカデミヤの酒宴の話を楽しくお話いただきました。

ギリシャ哲学がグッと身近になりました。

16:00 懇親会 三島駅南口 はなの舞 ～18:00 14人参加

6月6日(土)、7日(日) 同窓会連合会

令和8年度の総会は幕張の大学図書館の会議室で行われました。

新連合会長に群馬の箕輪さんが選出されました。また、全国の同窓会の情報交換会も行われ、有益な話を聞くことができました。(坂倉参加)



※ 放送大学バッジの販売について

同窓会では、放送大学バッジを販売しております。どちらも1個700円です。

右イラストは、まなぴーくんと、オリジナルバッジです。

購入希望者は、学習センターまで連絡してください。

現在、連合会ではTシャツを売っています。

興味ある方は連絡ください。



放送大学まなぴーピンバッジ



放送大学オリジナルバッジ

同窓会は、卒業していない現役学生も入会できます。

(会費：永久会員5,000円、年度会員1,000円/年)

定期総会から、年度会員1,000円を選択出来るようになりました。

* 静岡同窓会総会は、会員に別途連絡します。イベントなどは、どなたでも(学生でも、卒業生でも、その他、放送大学に関係ある人、あつた人など)連絡をいただければ、こちらから連絡します。その他、秋に皇居の見学会を計画しています。

放送大学静岡同窓会 会長 坂倉幾夫 (080-4338-2411)



同窓会のつながりの大切さを実感

放送大学浜松同窓会の2026年度総会が、5月24日（日）に市内クリエート浜松において開催されました。当日は同窓会会員19名が参加し、和やかな雰囲気での会が進められました。

総会では、開会に先立ちわたくし川隅より、日頃の同窓会活動へのご協力に対する感謝と、抱えているいくつかの課題を皆さんと一緒に解決していきたい旨のご挨拶をさせていただきました。続いて議事に入り、前年度活動報告・決算報告、今年度活動方針・計画・予算案、今年度役員選出について審議が行われ、いずれの議案も承認されました。その後、参加者から近況などを含めてマイクリレーによる報告が行われました。

総会終了後には、放送大学静岡学習センター所長の田中伸司氏による記念講演が行われました。講演では「対話について」をテーマに、専門分野である哲学からみた対話の重要性について専門的な内容を分かりやすくお話しいただくとともに、様々なエピソードも交えながらご講演いただきました。私たちが普段何気なく使っている「対話」という言葉の本当の意味を理解するとともに、社会の変化が大きくなうねりとなっている今こそ、対話の重要性を再認識して行動に移していかなければなりません。参加者は熱心に耳を傾け聞き入る姿が見られ大変有意義な時間となりました。

その後の懇親会では、講演いただいた学習センター所長を交えて近況報告、趣味の話、余暇時間の使い方、健康に関することなど多くの話題で会場は大いに盛り上がり、終始笑顔あふれるひとときとなりました。初参加の同窓生、オブ参加の新年度入学生とも自然に交流の輪が広がり、改めて同窓会のつながりの大切さを実感する機会となりました。

今後もより多くの皆さまにご参加いただき、同窓会活動がさらに活発なものとなることを期待しています。

放送大学浜松同窓会 会長 川隅克己

浜松同窓会総会後の集合写真と総会の様子



田中伸司所長
記念講演の様子

7月～9月の予定

静岡SC・掛川教室・浜松SSの3施設は月曜日が休館日です。

は上記以外の休館日

7月(July, 文月)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 面接授業【三】
5	6	7	8	9	10	11 面接授業【三】
12	13 休館日【静】	14 単位認定試験	15 単位認定試験	16 単位認定試験	17 単位認定試験	18 単位認定試験
19	20	21 単位認定試験 休館日【静】	22 単位認定試験 休館日【静】	23	24	25
26	27	28	29	30	31 休館日【掛】	
大学説明会【浜】						

8月(August, 葉月)

日	月	火	水	木	金	土
						1 大学説明会 公開講演会【三】
2	3	4	5	6	7	8
大学説明会 公開講演会【静】						
9	10	11 休館日【三・浜】	12 休館日【三・静・浜】	13 休館日【三・浜】	14 休館日【三・浜】	15 休館日【三・浜】
公開講演会【浜】	休館日【静】					
16	17	18 学生立入禁止【三】	19 学生立入禁止【三】	20 学生立入禁止【三】	21 学生立入禁止【三】	22
休館日【三・浜】						
23	24	25 学生立入禁止【AM三】	26 休館日【静】	27	28	29
公開講演会【三生涯】						
30	31					

9月(September, 長月)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 休館日【静】	15	16	17	18	19
20	21	22 休館日【三・静・浜】	23 休館日【三・浜】	24 休館日【静】	25 休館日【掛】	26
27	28	29	30			
入学者説明会【静】 学位記授与式・入学者の集い【浜】						

7月 行事・予定

- 7～22 放送教材貸出停止【掛】
- 18～25 単位認定試験(20除く)
- 26 大学説明会【浜】 13:30～

2026年度第2学期学生募集期間
第1回 6/10～8/31

20～8/3 司書教諭講習受講期間

8月 行事・予定

- 1 大学説明会【三】 10:00～
公開講演会【三】 13:30～
- 2 大学説明会【静】 10:00～
公開講演会【静】 13:30～
- 9 公開講演会【浜】 13:30～
- 23 公開講演会【三生涯】 13:30～

13～20 卒業研究履修申請期間

7/31～18 司書教諭 通信指導
答案提出期限(本部必着)

15～30(郵送) 2学期科目登録申請期間
15～31(Web)

9月 行事・予定

- 27 視聴学習室閉室【浜】
入学者説明会【静】 10:00～予定
学位記授与式【浜】 13:00～予定
入学者の集い【浜】 14:00～予定

21～10/5 司書教諭 単位認定試験
答案提出期限(本部必)

2026年度第2学期学生募集期間
第2回 1～9

【三】…静岡学習センター(静岡SC) 【浜】…浜松サテライトスペース(浜松SS)
【静】…静岡市教室 【掛】…掛川教室 【三生涯】三島市民生涯学習センター